

平成27年3月

高田知朗 学位論文審査要旨

主 査 長谷川 純 一
副主査 松 浦 達 也
同 村 脇 義 和

主論文

Influence of olmesartan on sirtuin 1 mRNA expression in 5/6 nephrectomized spontaneously hypertensive rats

(5/6腎摘高血圧自然発症ラットでのオルメサルタンのsirtuin 1 mRNA発現への影響)

(著者：高田知朗、宗村千潮、福井毅顕、福田佐登子、村脇義和)

平成27年 Yonago Acta medica 掲載予定

参考論文

1. Acute and severe hypercalcemia in a near-drowning victim

(溺水患者に合併した重篤な急性高カルシウム血症)

(著者：高田知朗、中岡明久、加藤和宏、福井毅顕、前田佐登子、宗村千潮、村脇義和)

平成25年 International Journal of Clinical Medicine 4巻 417頁～420頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は高血圧自然発症ラットに5/6腎摘を行い、慢性腎臓病モデルを作製し、オルメサルタン投与による腎保護効果とsirtuin 1 mRNA発現の関連について検討したものである。その結果、オルメサルタンは血清クレアチニンや尿蛋白、腎硬化指数などを明らかに改善し、腎保護効果を示したが、慢性腎臓病モデルラットで低下したsirtuin 1 mRNA発現は増加させなかった。このことからオルメサルタンの腎保護効果はsirtuin 1とは別経路であることが明らかとなった。本論文の内容は、慢性腎臓病の治療学において、明らかに学術水準を高めたものと認める。